“鼻副鼻腔疾患における血液・鼻副鼻腔検体を用いた血清バイオマーカー検索および病態解明”

研究の対象

大阪大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来を受診する鼻副鼻腔疾患患者
適応基準）20歳以上の85歳未満の鼻副鼻腔疾患患者

尚、「耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域における疾患に関する臨床研究のバンキング」研究にご同意いただいた患者様も対象とします。

研究の目的

鼻副鼻腔疾患は副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）、アレルギー性鼻炎、副鼻腔腫瘍など非常に多様です。

本研究では、血液及び切除した組織を利用してバイオマーカー検索および病態解明を目指します。バイオマーカーというのはわかりやすく表現すると病気の存在や進行度を血液中で把握する目安のことです。血液検査で鼻副鼻腔疾患の存在を早めに知ることで、早期に治療を開始することができます。また、病態解明というのは病気の成り立ちや原因を探ることで、病気になっている組織や血液を調べることでこれを目指します。病気の成り立ちや原因がはっきりすれば現在は難治の病気であっても根本的に治療を行える可能性があります。

研究の方法

通常診療で得られる診療情報（検査結果のデータ・画像など）および通常診療で行われる検査・手術時摘出標本のうち診断に使用せず保存されたパラフィンブロックや、「耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域における疾患に関する臨床研究のバンキング」研究で得られた血液、鼻副鼻腔組織、及び資料（データ）を今回の検討に使用します。本研究では、試料の高度な解析を行うことがあり、大阪大学微生物病研究所およびアプライドメディカルリサーチに試料を提供し、特定の検体測定を依頼することがあります。具体的には、大阪大学微生物病研究所では遺伝子発現量解析、アプライドメディカルリサーチでは免疫染色などを実施する予定です。これらの機関は、それぞれの専門技術を有しており、本研究の目的達成に不可欠な分析を担当します。なお、提供する試料はすべて匿名化され、個人情報が含まれない形で適切に管理・利用されます。

遺伝子発現量を測定する過程で一部の塩基配列を認識・同定することがありますが、得られるデータには個人を識別できる情報は含まれておらず、健康上やプライバシーの面で不利益を被ることはありません。当研究は大阪大学呼吸器・免疫アレルギー内科、大阪大学大学

院医学系研究科・病態病理学との共同研究として行われます。

個人情報の保護

この研究で得られた結果は、貴重な資料として学会や医学雑誌に公表されることがあります。その場合、あなたの個人情報は、外部からは特定できないように厳重に管理されます。また、この研究が適切に行われていることを確認するために、関係者がカルテなどを見ることがありますが、その場合もプライバシーは守られます。

知的財産権

この研究の結果により知的財産権が生じることがありますが、その権利は研究者や研究を行う機関に属します。

試料等の利用と保存

この研究で得られた血液、鼻副鼻腔組織、及び資料（データ）は、研究終了後、耳鼻咽喉科・頭頸部外科で保管され、他の研究に利用する可能性があります。

研究組織

◆ 研究施設
大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

◆ 研究責任者
大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科　助教　津田　武

◆ 研究事務局
大阪大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

問い合わせ先

研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
大阪大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
担当医師（氏名・職名）：　津田　武　・　助教
連絡先：06-6879-3951